

新貨物ターミナル通信



今号の一枚
「UF16A型コンテナ」
冷凍・チルド食品、精密
機械の輸送に活躍して
おり、真夏の親子見学
ツアーでは-20℃の庫
内を体験しました。

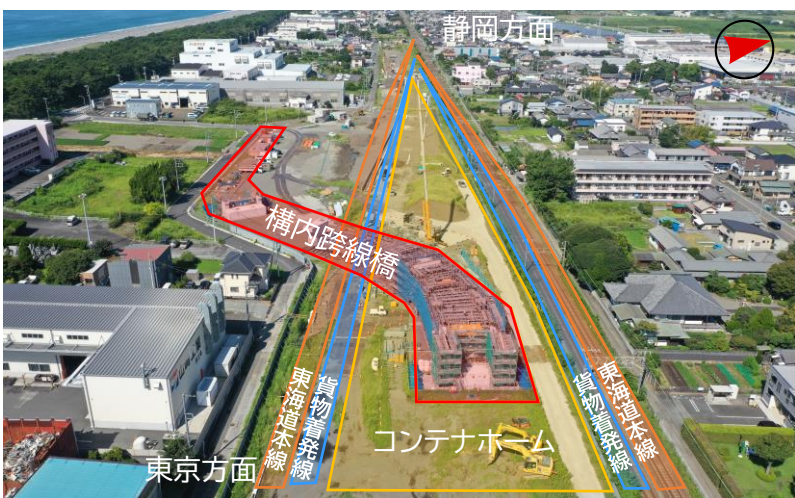
新貨物ターミナル工事 着々と進行中

令和9年度末の完成を目指し、今年度も整備を着々と進めています！
引き続き、コンテナホームやフロント部の基盤整備、施設内の管路埋設、構内跨線橋の橋脚工事などを実施しています。また、一本松アンダー道路は、掘削が終わり、今後、道路本体のボックスを築造していきます。



①一本松アンダー道路を西側から撮影(R6.9月撮影)

〈現在整備中の箇所〉



②フロント部・跨線橋新設工事を東側から撮影(R6.9月撮影)

構内跨線橋は8月末に橋脚のコンクリート打設が完了し、その姿が少しずつ見え始めてきました。付近をご通行の際は、是非ご覧ください。

完成までの間、道路の迂回などご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。



実施中の工事の内容、施工箇所、直近2週間の工程などは、
沼津土木事務所のホームページで公開しています。

沼津土木事務所HP

「新貨物ターミナル工事のお知らせ」
で検索して下さい。



Facebookで
鉄道高架事業発信中！



沼津のまちづくりの最新情報はこちらで▲
皆さんのいいねをお待ちしています！！

現場レポート② ～ 調整池・排水路の整備 ～

第2回は新貨物ターミナルに降った雨水を処理する、「調整池や排水路」についてレポートします。
新貨物ターミナルは非常に広大な施設であることから、敷地内に降った雨水をそのまま河川に流すのではなく、2か所の調整池に一時的に貯め置くことで、下流河川などへの負担軽減を図ります。



現在、敷地内では、将来の線路やコンテナホームを取り囲むような形で、雨水を調整池へ流すための側溝の敷設工事を行っています。また、周辺整備の一環で、調整池に貯まった雨水を少しずつ河川に放流するための排水路を築造する工事を実施しました。
近年、風水害が激甚化する傾向がありますが、新貨物ターミナルは、放流先の河川やその周辺への影響をできる限り抑えるよう整備しています。



静岡県沼津土木事務所
都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号
TEL:055-920-2222 FAX:055-926-5527
MAIL:numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp

シリーズ「鉄道貨物輸送」 ～④先進地事例・神戸貨物ターミナル駅～

全国には、沼津の新貨物ターミナルと同じE&S(着発線荷役)方式を採用した貨物駅が複数あります。このたび、その1つである神戸貨物ターミナル駅に行ってきました！神戸貨物ターミナル駅は、神戸地区の鉄道貨物輸送の拠点として、平成15年12月にE&S方式を採用した貨物駅として開業しました。元々は、明治40年以来、約8km離れた神戸港駅で営業していましたが、新たな鉄道貨物の拠点として、山陽本線上(鷹取駅)に移転しました。



神戸貨物ターミナル駅は、沼津の新貨物ターミナルと形状がよく似ており、旅客線上にある点も共通しているため、周辺環境へどのような配慮がされているかも確認してきました！
神戸貨物ターミナル駅では、沼津の新貨物ターミナルで使用されるロングレール(車両走行時の騒音対策)を採用しておりジョイント音などの騒音の発生を抑制していました。また、荷役機械(フォークリフト、トップリフター)は全て低騒音式で、バック時の警告音の音量も一番小さく設定するなど最小限の荷役作業音になるよう配慮がされていました。作業員1人ひとりの騒音防止への意識も伺え、周辺の暮らしに寄り添い作業を行っていることがとても印象深かったです。沼津の新貨物ターミナル周辺の方々にもご理解頂けるよう、今後も視察で体感した周辺住環境に配慮した取り組みについて発信してまいります。

沼津市沼津駅周辺整備部
推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号
TEL:055-934-4768 FAX:055-934-2310
MAIL:suishin@city.numazu.lg.jp